

# 凍結による給湯機器の破損（故障）予防の御願い

! 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

! 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

・機器は気温が凍結する温度に近くなると、凍結予防ヒーターや循環ポンプの作動などで凍結予防するため、電源プラグを抜かないでください。



・給湯機器の器具内の凍結予防ヒーターが、凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動します。電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。（運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します。）

※給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（電気ヒーターは1m3,000円～購入可能です。）

## 凍結してしまったら・・・（対処法）

### 凍結してしまったら（凍結してお湯がでない場合）

- ① 運転スイッチを「切」にする。  
（「入」にしていると燃焼する場合があります）
- ② 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。
- ③ すぐにお湯を使いたい場合は、ヘアードライヤーで給水バルブ等を温め解凍を促す。
- ④ 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れなどがないかよくご確認のうえ、使用してください。



桐生ガス株式会社

桐生市仲町3丁目6番32号

TEL 0277-44-8141